中小ビルの所有者・ビルを利用される皆さまへ

ビルの換気の改善は、利用する人全員で取り組むことが大切です。特定建築物に該当しない建築物も、換気設備等の適切な維持管理に努めましょう。換気は感染対策だけでなく、汚染物質を室内から除去し、空間を快適にしてくれます。汚染物質とは、ホルムアルデヒド・一酸化炭素・臭気など

建築物衛生法では、特定建築物の所有者等に対し、建築物環境衛生管理基準に従って維持管理することを求めています。そして特定建築物以外の建築物であっても、多数の方が使用利用する場合は、特定建築物と同様の維持管理をするように努めることとされています。また昨今は新型コロナウイルス感染症対策としても、リスク要因の一つである「換気の悪い密閉空間」の改善が重要とされていますビルの所有者とテナント事業者等のビルの利用者が協力してビル全体の換気の改善に取り組みましょう。

改善にあたっての３ポイント

ビルの所有者は、ビル内の換気状況や換気設備の設置状況を把握し必要に応じて、ビルの利用者と情報を共有しましょう。テナント事業者等のビルの利用者は、ビルの所有者が示す換気を改善する取り組みに協力しましょう。ビルの所有者は、定期的に換気設備（給排気口、外気取入口、フィルター等）のメンテナンスを行いましょう。

換気を改善するための具体的な対策

ビル所有者等は定期的に空気環境を測定し、その結果をビルの利用者と共有しましょう。二酸化炭素濃度が1000ppm以下であれば、その居室の空気環境は適切に維持管理されています。ビル所有者等はどのような換気設備が設置されているかを確認し必要に応じて、換気量に応じた各居室の在室人数の目安をビルの利用者と共有しましょう。居室の換気量を一人当たりの必要換気量（毎時30立方メートル）で割ることで、その居室の在室人数の目安が分かります。

ビル所有者等は、設置されている換気設備の状況等を踏まえ、必要に応じて換気を改善する方法をビルの利用者に周知しましょう。ビルの利用者は、改善する取り組みに協力しましょう。

取組例

機械換気設備が設置されている場合は常に稼働させ、強弱が選択できる場合は「強」にしましょう。機械換気設備だけでは換気量が不足する場合などには、二方向の窓を開放しましょう。窓が一方にしかない場合はドアも開放しましょう。在室密度を下げるため、テナント事業者は在宅勤務、分散勤務、時差出勤などを検討しましょう。

ビル所有者等の取り組み

機械換気設備の整備等を定期的に行いましょう。給排気口、フィルター、全熱交換器のエレメントなどの清掃は換気の改善に有効です。換気量が多い方が感染リスクの低減には有効ですが、換気設備の能力を超えて無理に換気量を増やすと、室内の温熱環境の悪化や騒音、機器の故障につながります。機械換気設備の能力や室内の温熱環境の維持を考慮して、換気量を調整しましょう。

参考情報

夏や冬の時期には、適切な温度・湿度を維持しながら換気を確保するために、窓の開け方を工夫するとともに、可搬式の空気清浄機を併用することも有効です。

（公社）空気調和・衛生工学会では、商業施設等利用者向けの提言を公表しています。